

2021年3月期 第1四半期決算説明資料

2020年7月30日

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

目次

1. 2021年3月期 第1四半期の業績
2. 2021年3月期 第1四半期のトピックス
3. 新体制について

第1四半期でのコロナウイルスの影響

- ❖ 未公表である今期業績予想については、医療機関や取引先ごとに当社事業への影響を精査中である。算定出来次第、速やかに公表する。
- ❖ 第1四半期において、新型コロナウイルスによる当社事業への影響は以下のとおり。

再生医療製品事業

- ・ 当社：訪問・提案・情報提供等の通常の営業活動が大幅に制限された
- ・ 医療機関：外来閉鎖や縮小、訪問規制、オペ枠が確保出来ない状況が生じた
- ・ 患者：感染拡大や予防のために外来通院の回避や敬遠が生じた

再生医療受託事業

- ・ 新型コロナウイルスの影響を大きく受けた医療機関や委託元の企業で、開発が停滞した
- ・ 治験開始や海外での技術移管が遅れるといった状況が発生した

研究開発支援事業

- ・ 顧客である研究所の実験が中断または中止となった
- ・ 学会等の中止により当社製品のPR機会を失った等の影響が出た

開発パイプライン

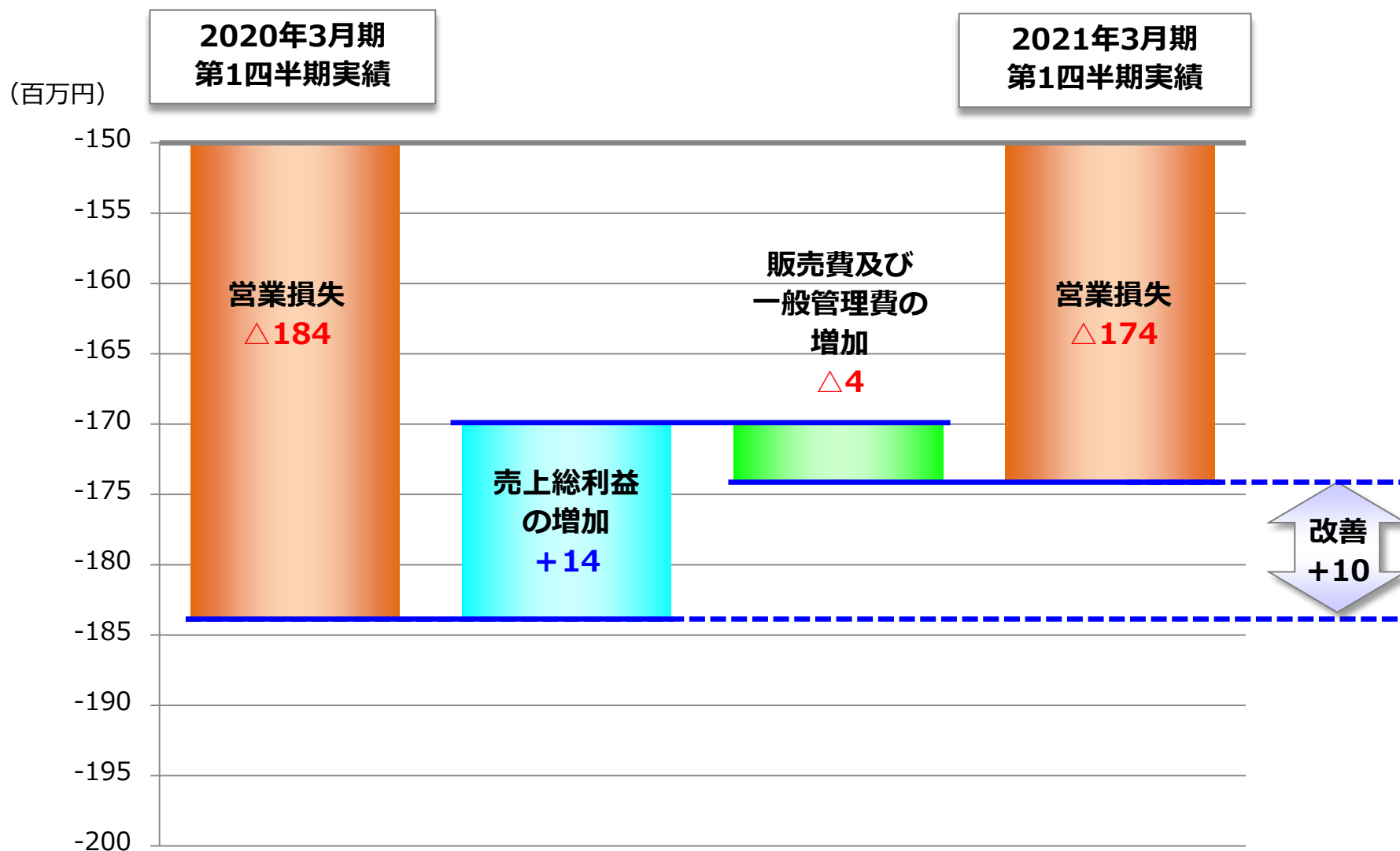
- ・ 外出や移動の自粛に伴う来院者数の減少により、当社が実施する治験の参加者の減少につながり、開発スケジュールの遅れが生じた

損益計算書の概要

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2020年3月期		2021年3月期		
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	対前年同期	
				増減額	増減率
売上高	433	2,309	377	△55	△12.7%
売上総利益	179	1,188	194	14	8.4%
販売費及び一般管理費	363	1,423	368	4	1.3%
営業損失	△184	△235	△174	10	-
経常損失	△183	△229	△173	9	-
四半期純損失	△184	△287	△174	9	-

- ❖ 売上高は、第1四半期累計377百万円。再生医療製品事業と研究開発支援事業の売上は堅調に推移したものの、再生医療受託事業の売上が減少し、対前年同期△55百万円。
- ❖ 営業損失は、第1四半期累計△174百万円。対前年同期+10百万円の改善。

営業損益増減の内訳



セグメント別の売上高

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2020年3月期		2021年3月期		
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	対前年同期	
				増減額	増減率
ジェイス	190	914	190	0	0.2%
ジャック	88	416	81	△7	△8.0%
再生医療製品事業	278	1,356	271	△6	△2.4%
再生医療受託事業	124	813	73	△50	△40.6%
研究開発支援事業	30	140	32	2	6.6%
売上高合計	433	2,309	377	△55	△12.7%

- ❖ セグメント別では、新型コロナウイルスの影響がある中で再生医療製品事業と研究開発支援事業の売上は堅調に推移したものの、再生医療受託事業の売上が大きく減少した。
- ❖ 再生医療製品事業の売上高は271百万円。対前年同期△6百万円、2.4%の減少。
 - 自家培養表皮ジェイス：新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月、5月は受注が減少したものの、緊急事態宣言解除後の6月は回復基調となり、**前年同期と同程度の売上を確保**。
 - 自家培養軟骨ジャック：対前年同期△7百万円、8.0%の減少。コロナの影響があるものの、コラーゲン膜の有用性や術後のケースレポートを活用した情報提供を行い、**ヘビーユーザーからの受注を維持**。
- ❖ 再生医療受託事業の売上高は73百万円。医療機関や委託元の企業で、開発の停滞、治験開始や海外での技術移管の遅れ等が発生した影響が大きく、対前年同期△50百万円、40.6%の減少。
- ❖ 研究開発支援事業の売上高は32百万円。ウェブを最大限に活用した営業活動を展開し、**対前年同期+2百万円、6.6%の増加**。

貸借対照表の概要

(単位：百万円) (百万円未満切捨て表示)	2020年3月期 2020年3月31日	2021年3月期 2020年6月30日	増減額
流動資産	6,816	6,658	△158
固定・繰延資産	1,634	1,614	△20
資産合計	8,451	8,272	△178
流動負債	783	780	△3
固定負債	36	36	0
負債合計	820	816	△4
資本金	4,958	4,958	0
資本準備金	2,788	2,788	0
利益剰余金	△116	△291	△174
純資産	7,631	7,456	△174
負債・純資産合計	8,451	8,272	△178

売掛金の減少等

四半期純損失の計上

目次

1. 2021年3月期 第1四半期の業績
- 2. 2021年3月期 第1四半期のトピックス**
3. 新体制について

ネピック販売開始

6月1日 保険適用

- ❖ 2020年6月、眼科領域で国内初の再生医療等製品として保険適用となった。
- ❖ 販売は、開発の委託元でもある眼科医療機器メーカーのニデックが担当。
- ❖ ニデックと連携し、眼科領域への再生医療の普及を目指す。



眼の各部名称

角膜輪部：角膜と結膜の境界にあり、角膜上皮細胞の幹細胞が存在する。

適応対象：角膜上皮幹細胞疲弊症

ただし、以下の患者を除く。

- ・スティーヴンス・ジョンソン症候群の患者
- ・眼類天疱瘡の患者
- ・移植片対宿主病の患者
- ・無虹彩症等の先天的に角膜上皮幹細胞に形成異常を来す疾患の患者
- ・再発翼状片の患者
- ・特発性の角膜上皮幹細胞疲弊症患者

角膜上皮幹細胞疲弊症とは

結膜と角膜の境界領域である角膜輪部に存在する角膜上皮幹細胞が、先天的または外的要因等によって消失することで発症する疾患。角膜が混濁し、視力の低下や、眼痛などの臨床症状が見られる。

自家培養角膜シートを移植することで角膜上皮の再建を目指す。

J-TEC紹介動画配信

- ❖ 当社のこれまでの歩みや想い、これからの展望を凝縮させた動画を配信開始。
- ❖ 多くの皆様に当社や再生医療についてよりご理解を深めていただきたく、ぜひご覧ください。

動画配信

<http://www.jppte.co.jp/video/index.html>



Episode 1 再生医療をあらためて考える
代表取締役 高野 一郎



Episode 2 J-TECが歩んできた道とこれから進む道
代表取締役 高野 一郎 × 取締役専務執行役員 大須賀 儀裕

新たな仲間たち

- ❖ 2020年4月、新たに11名の新入社員が仲間入り。それぞれの個性を生かし、再生医療の発展に寄与することを目指す。



目次

1. 2021年3月期 第1四半期の業績
2. 2021年3月期 第1四半期のトピックス
- 3. 新体制について**

新体制について

- ❖ **よりシンプルな経営体制とすることで意思決定のさらなるスピードアップ**を図り、富士フイルムとのグループシナジーを加速することでより一層の企業価値の向上を目指す。

代表取締役 社長執行役員	畠 賢一郎
取締役	大須賀 俊裕
取締役	平尾 和義
取締役（社外）	手塚 勉
取締役（非業務執行）	秋山 雅孝
取締役（非業務執行）	八尋 孝弘
取締役（非業務執行）	長谷川 知行
監査役（常勤）	倉橋 清隆
監査役（社外）	加藤 孝浩
監査役（社外）	小川 薫

ごあいさつ



株主の皆様、日頃より当社をご支援いただき、誠に有難うございます。
先々株主総会を経て、再び当社の代表取締役社長執行役員に就任させていただくこととなりました。

当社は、日々再生医療の製品をつくり、医療現場にお届けしております。しかし、市民の皆様からの認知度はいまだ高くはありません。

本年度は、眼科領域へのご提供を始めます。より多くの患者様に使っていただくために臨床試験を進めます。当社の価値をより多くの方々に知っていただくより、ひたすら努力してまいります。
引き続き、ご支援よろしくお願い申し上げます。

島 賢一 郎



参考資料

当社の事業セグメント

再生医療製品事業 医薬品医療機器等法

自家培養表皮



自家培養軟骨



自家培養角膜 上皮



再生医療受託事業

医薬品医療機器等法

開発製造受託 (CDMO)

開発業務受託 (CRO)

再生医療等安全性確保法

コンサルティング

特定細胞加工物製造受託

CDMO : Contract Development and Manufacturing Organization, CRO : Contract Research Organization

研究開発支援事業

ラボサイト

(研究用ヒト培養組織)



製品写真



外装写真

ヒト3次元培養表皮

エピ・モデル

エピ・キット

ヒト3次元培養角膜上皮

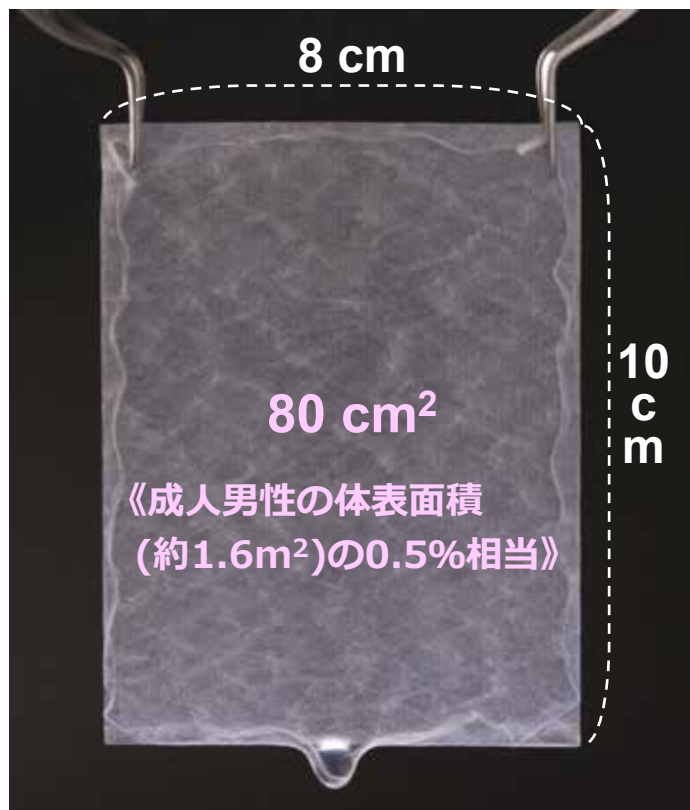
角膜モデル

F-hiSIEC

ヒトiPS細胞由来

腸管上皮細胞

自家培養表皮ジェイス



【適応対象】

1. 重症熱傷

受傷面積として深達性Ⅱ度及びⅢ度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象。

2. 先天性巨大色素性母斑

母斑面積が体表面積の5%以上の治療など、既存の標準的な治療では母斑の切除に対応しきれない場合に適用。

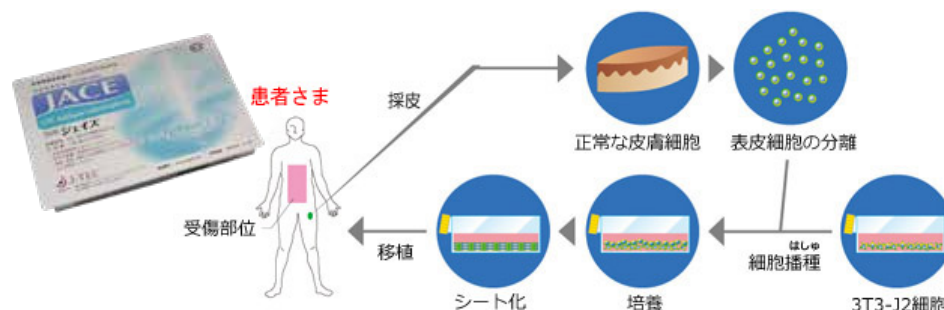
3. 栄養障害型表皮水疱症及び接合部型表皮水疱症

4週間程度持続しているびらん・潰瘍及び潰瘍化と再上皮化を繰り返すびらん・潰瘍に対して適用。

【保険償還価格】（2019年10月～） ※消費増税により改定

- ① 採取・培養キット： 4,460千円
- ② 調製・移植キット： 154千円 /枚

算定限度：40枚（熱傷）ただし、医学的に必要がある場合は、その理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載した上で50枚を限度として算定できる。・30枚（母斑）・50枚（表皮水疱症）



自家培養軟骨ジャック



【適応対象】

膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎（変形性膝関節症を除く）の臨床症状の緩和。ただし、他に治療法がなく、かつ軟骨欠損面積が4cm²以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る。

【保険償還価格】（2019年10月～）

※消費増税により改定

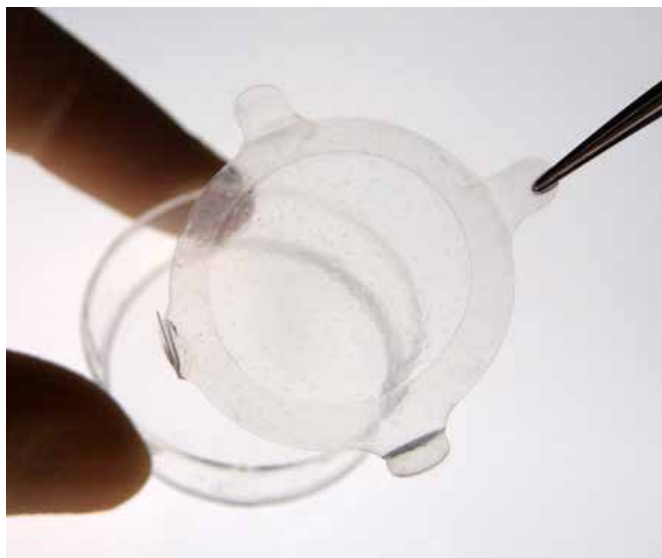
- ① 採取・培養キット： 895千円
- ② 調製・移植キット： 1,270千円
(使用した個数に係らない)



自家培養角膜上皮ネピック



販売：株式会社ニデック



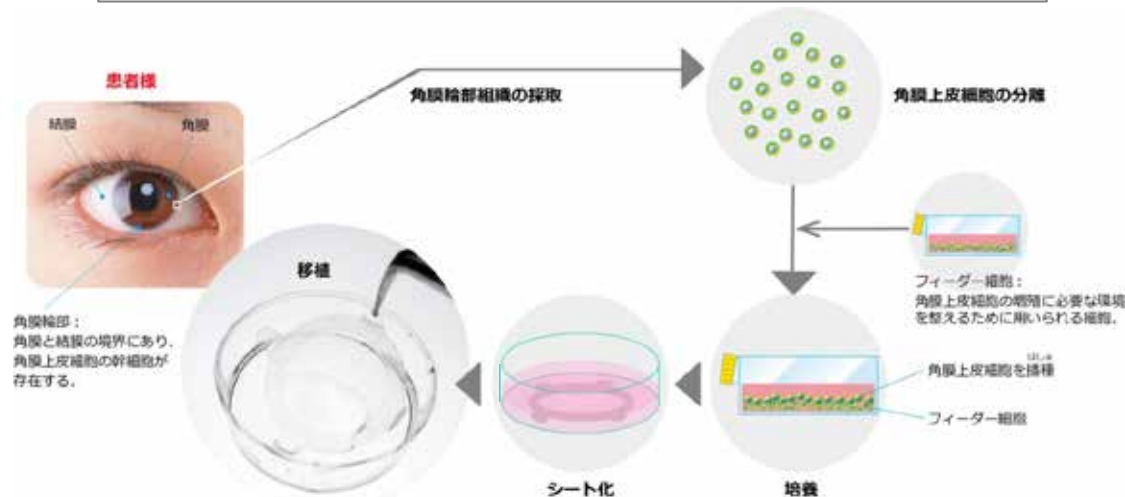
【適応対象】角膜上皮幹細胞疲弊症

ただし、以下の患者を除く。

- ・スティーヴンス・ジョンソン症候群の患者
- ・眼類天疱瘡の患者
- ・移植片対宿主病の患者
- ・無虹彩症等の先天的に角膜上皮幹細胞に形成異常を来す疾患の患者
- ・再発翼状片の患者
- ・特発性の角膜上皮幹細胞疲弊症患者

【保険償還価格】（2020年6月～）

- | | |
|----------------|---------|
| ① 組織運搬セット： | 4,280千円 |
| ② 培養角膜上皮パッケージ： | 5,470千円 |



製品・開発パイプライン

開発パイプライン	適応症	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	
表皮	ジェイス 自家培養表皮 重症熱傷・先天性巨大色素性母斑 適応拡大 先天性表皮水疱症	販売	承認	販売		
	メラノサイト ACE02	尋常性白斑	企業治験	申請	承認	
	同種培養表皮	Ⅱ度熱傷	自由診療（再生医療安全性確保法下）			
				企業治験	申請	承認
軟骨	ジャック 自家培養軟骨 外傷性軟骨欠損症・離断性骨軟骨炎 適応拡大 二次性変形性膝関節症	販売	企業治験	申請	承認	
	自家 CAR-T細胞	急性リンパ性白血病	企業治験	申請	承認	
角膜	ネピック 自家培養角膜上皮 角膜上皮幹細胞疲弊症	承認	販売			
	口腔粘膜 COMET01		申請	承認	販売	

（研究開発支援事業は除く）

※当社製品・開発パイプラインの一覧。新型コロナウイルスによる開発遅延等の影響については現時点では予測が困難であり、織り込んでいません。

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。



株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1
経営管理本部

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp